

取材のお願い

## 「TPAM – 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020」のお知らせ

### ～国内唯一の国際舞台芸術プラットフォーム・今年はダンスにフォーカス～

国際交流基金アジアセンターは、2020年2月8日（土）から16日（日）まで、「国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020（略称：TPAM2020）」を開催します。公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC – 国際舞台芸術交流センターと共同で開催するものです。2011年より主会場を東京から横浜に移し、今回で10回目の横浜開催となります。

本年は、「HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム」の日本開催に合わせ、ダンスにフォーカスしたプログラムを実施します。過去のTPAMにも参加したピチエ・クランチェン氏（タイ）やエコ・スプリヤント氏（インドネシア）が、新たな国際共同制作に挑みます。

また、今年もTPAMに合わせ、アジアを中心とした若手プレゼンター約40名を招へいし、多くの舞台芸術関係者が集まります。そこから招へい公演や共同制作が実現するなど、新たな協働が生まれる場として機能しています。



TPAM エクスチェンジの様子  
Photo by Yuri Yamada



TPAM オープニングシンポジウム  
Photo by Yuri Yamada



TPAM ディレクション『5台のピアノのための音楽』  
Photo by Hideto Maezawa

#### 記

事業名称：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020（TPAM2020）

主催：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 実行委員会（国際交流基金アジアセンター、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC – 国際舞台芸術交流センター）

開催日程：2020年2月8日（土）～16日（日）

詳細な日程・プログラムについては後頁をご覧ください。

取材をご希望の際は、下記担当者までお問い合わせください。

会場：KAAT 神奈川芸術劇場、横浜市開港記念会館、Kosha33（神奈川県住宅供給公社）、横浜ポートシアター、クリフサイド、横浜赤レンガ倉庫1号館、ほか横浜・東京の複数の会場

後援：外務省、文化庁、神奈川県、横浜市

主な内容：TPAMはアジアで最も歴史のある舞台芸術専門のプラットフォームです。2月に横浜に来ればアジアの新しい舞台芸術作品や関係者に会える場所として、世界の舞台芸術関係者に知られています。2015年からは、アジアの同時代舞台芸術に焦点を当てる「アジアフォーカス」を実施。今回の「アジアフォーカス」はこれまで5年間行ってきた集大成となります。アジアのアーティストの作品を紹介するだけでなく、世界各国のフェスティバルや劇場、芸術文化団体のディレクター、プロデューサー等の関係者およびアーティストのための情報交換や交流の場を提供しています。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

世界有数・国内唯一の舞台芸術プラットフォーム

## 「TPAM – 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020」 ダンスと身体表現にフォーカスして2月に開催！

2020年2月8日（土）～2月16日（日）

KAAT神奈川芸術劇場、Kosha33（神奈川県住宅供給公社）、横浜市開港記念会館、横浜ポートシアター、クリフサイド、関内新井ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館、Amazon Club、ほか横浜・東京の複数会場にて



リー・レンシン『セクション19 – 地域でのダンス儀式』  
Photo by Lee Ren Xin

### TPAMとは

ティーパーム  
TPAM – 国際舞台芸術ミーティング in 横浜は、①アジアと世界の舞台芸術の最新動向を伝える公演プログラム、②国内外の重要フェスティバル・劇場・芸術文化団体から数百名の舞台芸術関係者が集まる交流プログラム、③日本の新人アーティストにとって観客開拓・海外公演のチャンスとなる公募プログラムから成る、世界有数・国内唯一の国際的舞  
台芸術プラットフォームです。1995年に「芸術見本市」として東京で開始し、今回が第24回、横浜に会場を移してからは10回目の開催となります。

近年はアジア・フォーカスを強化し、アジアとの国際共同製作にも参画。前回（2019年2月）のTPAMには、41カ国・地域から約400名、日本から約480名の舞台芸術のプロフェッショナルが参加しました。その一人一人が数百、数千、数万の未来の観客につながっています。また、ほとんどのプログラムは一般のお客様も観賞・参加可能です（前回の延べ入場者数26,883名）。

#### 【このリリースに関するお問い合わせ先】

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局（PARC – 国際舞台芸術交流センター）  
広報担当：雨宮士郎（あめみや・しろう）Tel 03-5724-4660/Fax 03-5724-4661/amemiya@tpam.or.jp

## ① 公演プログラム「TPAMディレクション」

プロフェッショナルのための国際プラットフォームであるTPAMならではの、アジアと世界の舞台芸術の動向をいち早く反映する公演プログラム。上演、観賞、参加を通して同時代の舞台芸術の可能性を多角的に考察するため、多様なバックグラウンドのディレクターと協力して組まれるラインナップは、一般のお客様にもご覧いただけます。5年間に渡るアジア・フォーカスの締めくくりとなる2020年は、身体表現という舞台芸術の「核心」にあえて立ち戻りそれを問い直すプログラムを展開します。各演目、各ディレクターのコンセプトについての詳細はウェブサイトをご覧ください。

### 演目一覧（公演日程順）

- 1) **リー・レンシン** [マレーシア] 『セクション19 - 地域でのダンス儀式』 **2月8～15日**  
自分の身体がどれだけの空間を占めることを許されるのか検証するため、クアラルンプール近郊の「19地区」でリーが18ヶ月にわたり続けている「儀式」としてのダンスを、横浜で試みる。最終日にはその経験を共有するトークセッションを開催。
- 2) **fieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子** [ベルギー/ノルウェー/日本] 『nothing's for something』 **2月9日**  
物体、環境、パフォーマンスを等価に扱うサイト・スペシフィック作品で独自のスタイルを確立し、ヨーロッパ有数の実験的フェスティバルや劇場との共同製作を重ねているカンパニーが、あえてプロセニウム型劇場空間に戻り発表した作品。
- 3) **劇団態変** [日本] 『箱庭弁当』 **2月9～11日** ※エキストラ出演者・黒子を募集します（詳細はウェブサイトで発表）。  
1983年<sup>きむまんり</sup>金満里により大阪で旗揚げ、身体障害者の障碍そのものを表現力に転じる芸術を追求し続けているグループによる、「さ迷える愛」三部作（序・破・急）の二作目（破）。捨てられた弁当の具が放浪し様々な存在と出会う、ユーモラスな異色作。
- 4) **パドミニ・チェター** [インド] 『哲学的実演 1&2』 **2月10～11日**  
インド伝統舞踊「バラタナティヤム」を現代化したチャンドラレーカ（1928～2006）に学び、その試みをさらに突き詰めた抽象的なダンスを創り出してきたチェターが、自身のダンスについて書かれた他者の考察の朗読と対峙しながら踊るソロ。
- 5) **エコ・スプリヤント** [インドネシア] 『イブイブ・ベルー：国境の身体』 **2月12日**  
インドネシアと東ティモールの国境付近の村々で伝承され、国境線が引かれる以前の人々のつながりを今に伝える伝統舞踊を、現地のダンサーたちと共に再解釈する新作（TPAM共同製作、世界初演）。
- 6) **タナポン・ウィルンハグン** [タイ] 『退避』 **2月12～15日**  
日常において忌まわしいとされるものからの「退避」のフォルムから振付を引き出し、身体を通して他者性の新たな理解を模索する方法論/プロジェクト。TPAM2019での公開ワークショップを経て、個性的な日本人ダンサーを迎えての上演として結実。
- 7) **fieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子** [ベルギー/ノルウェー/日本] 『unannounced』 **2月13～15日**  
『nothing's for something』のfieldworksが劇場を縦横に用いて展開する、「アナウンスなしの」驚きに満ちた体験。
- 8) **中間アヤカ** [日本] 『フリーウェイ・ダンス』 **2月14～15日**  
非ダンサーの「最初のダンス」についての記憶を採集し、それらを振付の素材として、室内に作られた「庭」の中で踊る4時間のソロ。「ごはん休憩」1時間あり。
- 9) **ピチェ・克蘭チェン** [タイ] 『No. 60』 **2月15～16日**  
タイ古典舞踊の59の型（テーパノン）をマスターした克蘭チェンが、まだ見ぬ来たるべき「60番」の理念を追求する新作（TPAM共同製作、世界初演）。
- 10) **fieldworks / ハイネ・アヴダル & 篠崎由紀子 + サラ・ヤンセン** [ベルギー/ノルウェー/日本] 『unwritten conversation』 **2月16日**  
パフォーマンス理論とジャパニ・スタディーズを専門とするドラマトゥルク/ダンス研究者サラ・ヤンセンが『nothing's for something』『unannounced』のfieldworksを論じる、パフォーマンスティブ・レクチャー。
- 11) **毛魚 & アキラ・ザ・ハスラー/ 振子びじん** [韓国/日本] (タイトル未定) **2月16日**  
1946年創業のダンスホール「クリフサイド」での、一夜限りの日韓コラボレーション（世界初演）。

### ディレクター

- 1) ジューン・タン (ファイブ・アーツ・センター プロデューサー) [マレーシア]
- 3) 小倉由佳子 (ロームシアター京都 事業担当) [日本]
- 4) ヘリー・ミナルティ (インディペンデント研究者/キュレーター) [インドネシア]
- 8) 横堀ふみ (DANCE BOX プログラムディレクター) [日本]
- 11) コ・ジョン (インディペンデント・プロデューサー) [韓国]

#### 【このリリースに関するお問い合わせ先】

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局 (PARC - 国際舞台芸術交流センター)  
広報担当: 雨宮士郎 (あめみや・しろう) Tel 03-5724-4660/Fax 03-5724-4661/amemiya@tpam.or.jp



## ② 交流プログラム「TPAM エクスチェンジ」

作品やプロジェクトを紹介し合う、テーマを設定してミーティングを主催する、舞台芸術の状況をめぐるディスカッションに参加する——新しい情報を得てネットワークを広げるために様々な活用していただける、TPAMのベースとなるプログラムです。

劇場、音楽堂等連絡協議会（劇音協）によるシンポジウム、TPAMアドバイザーの平田オリザ氏による兵庫県豊岡市での新たな取り組みの紹介、舞台芸術におけるアーティスト・イン・レジデンス（AiR）を考える「舞台芸術AiR



ミーティング」、「舞台芸術制作者オープンネットワーク（ON-PAM）」やアジアのダンス関係者が立ち上げた「アジア・ネットワーク・フォー・ダンス（AND+）」によるディスカッション、横浜のアートと地域の関わりについて考える場「アートサイトラウンジ」、TPAM参加者が自分でテーマを提案し開催する「グループ・ミーティング」、国内外のフェスティバルディレクターや劇場プログラム担当者との1対1・10分間の予約制ミーティング「スピード・ネットワークキング」、また、CAPACOA/カナディアン・アーツ・プレゼンティング・アソシエーション、CINARS [カナダ/ケベック]、オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ、PAHN/パフォーミング・アーツ・ハブ・ノルウェー、ARTWAVE/国家文化芸術基金会 [台湾] などの海外代表団によるレセプションほか、様々な交流プログラムを実施します。プロフェッショナルの関心に特化した一部のプログラム以外は、一般のお客様もご参加いただけます。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

## ③ 公募プログラム「TPAMフリンジ」

ジャンル不問の公募プログラム「TPAMフリンジ」では、TPAM会期中に横浜・東京エリアで実施される公演やプロジェクトをTPAM参加者と一般のお客様にご紹介。登録するアーティスト/カンパニー/オーガナイザーにとっては海外公演の機会や新しい観客層を開拓するチャンスとして、TPAMに参加するプロフェッショナルや一般のお客様にとっては新しい才能や作品を発見するチャンスとして、幅広く活用されているプログラムです。ラインナップ最新情報はウェブサイトやTPAMフリンジチラシにてご確認ください、あるいはお問い合わせください。



提携事業の横浜ダンスコレクションは、香港とソウルのダンスフェスティバルとの協働により展開している「HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム」を日本で初めて開催。ダンスにフォーカスするTPAMディレクションと合わせ、アジアの多様なコンテンポラリー・ダンスのプログラムが横浜で集中的に展開することになります。

### 参加アーティスト/カンパニー/プロジェクト（公演日程順）

東京タンパリンわのわ、KPR/開幕ペナントレース、黒沼千春、富山のはるか、ロロ、青年団、横浜ダンスコレクション2020（コンペティションI、青空ダンス、黒須育海、ジュゼッペ・キコ & バルバラ・マティアヴィッチ、田村興一郎、HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム）、BRDG、SCOOLセレクション2020（福井裕孝、荒木優光）、STスポットセレクション vol.3（ヌトミック、岡田智代 × 大谷能生）、劇団現代古典主義、FURUTAMARU、佐藤朋子、Co. Ruri Mito、鮭スペアレ、IDIOT SAVANT × Belloo Creative、ARICA、\*birdname、伊藤キム、EPOCH MAN、若手振付家ショーケース（北尾亘 [Baobab]、中村蓉、田村興一郎、井田亜彩実、岡本優 & 岡田太郎、和太鼓 + ダンスユニット <まだこばやし>、仁田晶凱）、台北表演芸術センター × オランゴン、劇団かかし座、N₂、アートウェーブ/梅田宏明/ムーバー（ダンサー）、WONG, Pik Kei, Blue Ka Wing、アブラクサス、劇団あはひ、共生共創事業（OiBokkeShi、インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響-Kyo）、メイド・イン・マカオ Vol. 3（ポイントビューアート & ミュージックピクニック、マカオ実験劇場、ポイントビューアート、BOK × 高凱琳 × 福島章嗣、BOK × Choi-Buttinger）、Theatre Qfun Theater & Theatre Company shelf、ケベック フォーカス（アンドレア・ベナ、シモン・グルニエ-ボワリエ & ドリアン・ヌスキ-オデー）、富士山アネット、岩淵貞太/岩淵貞太 身体地図、few phew pur、mooncuproof、y/n、Annachan、ゼロコ、はらべこ満月、JDS ARTWORKS/カワサキアリス、追手門学院高校表現コミュニケーションコース、劇団鳥獣戯画、OM-2 × 柴田恵美、イエデイス企画、7度、櫛田祥光/Dance company Lasta、gallop、庭劇団ベニノ、M.M.S.T、敷地理、さんびん、烏丸ストロークロック

### 【このリリースに関するお問い合わせ先】

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局（PARC - 国際舞台芸術交流センター）

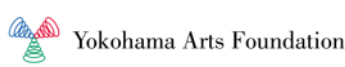
広報担当：雨宮士郎（あめみや・しろう）Tel 03-5724-4660/Fax 03-5724-4661/amemiya@tpam.or.jp

## 参加方法

	プロフェッショナル（舞台芸術関係者）	オーディエンス（一般のお客様）
参加登録	ウェブサイトにてオンライン登録 登録料5,000円、2020年2月3日（月）18:00締切	登録できません
TPAM ディレクション	プロフェッショナルレートでオンライン予約 ※定額5,000円で全演目を予約可能	チケットかながわ（KAAT神奈川芸術劇場上演作品のみ）、 Peatixにて2020年1月11日（土）チケット発売
	※一部のプログラムは無料/予約不要	
TPAM エクステンジ	無料 ※グループ・ミーティングにホスト登録する場合は 別途登録料5,000～24,000円	無料、あるいは当日500円～ ※当日のみ、一部のプログラムはご参加いただけません
TPAM フリンジ	割引などの特典つきでオンライン予約可能	チケット価格とお取り扱い先は公演ごとに異なります

## 開催概要

- 名称** 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 (TPAM2020)
- 会期** 2020年2月8日（土）～16日（日）
- 会場** KAAT神奈川芸術劇場、Kosha33（神奈川県住宅供給公社）、横浜市開港記念会館、横浜ポートシアター、クリフサイド、関内新井ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館、Amazon Clubほか横浜・東京の複数会場
- 主催** 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020 実行委員会（国際交流基金アジアセンター、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター）
- 助成** 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021 Arts Fund）、アジア・カルチュラル・カウンスル
- 後援** 外務省、文化庁、神奈川県、横浜市
- 提携事業** 横浜ダンスコレクション2020、舞台芸術制作者オープンネットワーク（ON-PAM）、アートサイトラウンジ vol. 25
- ウェブサイト** <https://www.tpam.or.jp>



KAAT 神奈川芸術劇場



Kosha33（神奈川県住宅供給公社）



横浜市開港記念会館

### 【このリリースに関するお問い合わせ先】

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局（PARC - 国際舞台芸術交流センター）

広報担当：雨宮士郎（あめみや・しろう）Tel 03-5724-4660/Fax 03-5724-4661/amemiya@tpam.or.jp